

日本循環器理学療法学会雑誌 投稿・執筆規定

1. 本誌は日本循環器理学療法学会の機関誌として、循環器理学療法に関連する学術領域の研究を公表し、循環器理学療法学の発展に寄与することを主な目的とする。
2. 日本循環器理学療法学会の記録や資料などを掲載する。
3. 本誌は和名「日本循環器理学療法学会雑誌」、略記名「循環器理学療法学」、英名「Journal of Japanese Cardiovascular Physical Therapy」、略記名「JCPT」とする。
4. 投稿論文の種類：
 - ①研究論文（原著）：新規性および独創性があり、明確な結論を示した論文。
 - ②症例研究：症例の臨床的問題や治療結果について科学的に研究を行い、考察を行った論文。
 - ③短報：研究の速報・略報として簡潔に記載された短い研究論文。
 - ④その他：システムティックレビュー、症例報告、実践報告、調査報告など編集委員会で掲載が適切と判断された論文および記事。（なお、症例報告とは症例の治療および経過などについて論理的に提示し、考察を行ったもの。実践報告とは、理学療法の研究・教育・臨床等の実践の中で、新たな工夫や介入、結果等について具体的かつ客観的に情報提示し、その内容が有益と判断されたもの）
5. 投稿者の資格
本誌への投稿は、循環器理学療法に関する内容であれば、本会の会員に限らない。
6. 投稿原稿は、未出版かつ他誌に投稿中の原稿でないこと。本規程および執筆規程にしたがって作成すること。
7. 投稿承諾書：著者の論文への責任および著作権譲渡の確認のため、別紙*1 の投稿承諾書に自筆による署名をして提出すること。
8. 著作権：本誌に掲載された論文の著作権は、日本循環器理学療法学会に属する。また、本誌に掲載された論文はオンライン公開される。

9. 利益相反：利益相反の可能性がある事項（コンサルタント料、株式所有、寄付金、特許など）がある場合は本文中に記載すること。なお、利益相反に関して、日本理学療法学会連合ホームページ利益相反（COI）の開示について（<http://jspt.japanpt.or.jp/shinsa/coi/>）に従い、著者（全員）は、利益相反に関わっていない場合でも、書類*2 を提出すること。
10. 研究倫理：ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。また、研究にあたり、所属研究機関あるいは所属施設の倫理委員会ないしそれに準ずる機関の承認を得ることを必須とし、倫理審査委員会名および承認番号（または承認年月日）を必ず記載すること。なお、倫理審査委員会より承認の非該当となった場合には、その旨を記載する。
11. 原稿の採否および掲載について：投稿原稿の採否および掲載順は、複数の査読者の意見を参考に編集委員会が査読結果に基づいて決定する。日本循環器理学療法学会にて発表し、座長より推薦を受けて、投稿された論文についても、編集委員会が査読結果に基づいて採否を決定する。依頼原稿については、編集委員会が必要に応じて修正、削除、加筆等の原稿訂正を求めることがある。原稿訂正を求められた著者が、原稿を返送された日より 60 日以内に再提出しない場合は、投稿を取り下げる。なお、特別な理由で延長する場合は必ず事務局に連絡すること。
12. 介入を伴う臨床試験においては、臨床試験を開始する前に医学雑誌編集者国際委員会：生物学雑誌への投稿のための統一規定（<http://www.icmje.org/recommendations/>）の基準を満たす登録サイト（例：UMIN-CTR 等）へ登録し、登録 ID を記載しなければならない。
13. 校正：著者校正は原則として 1 回とし、誤字脱字を除く文章および図表の変更は原則として認

めない。

14. 掲載料は、筆頭投稿者、共著者ともに日本理学療法士協会会員について規定枚数以内は無料とする。ただし、規定枚数を超過した場合は、超過分に要した費用を徴収する。また、筆頭投稿者あるいは共著者に理学療法士の免許を有する日本理学療法士協会の非会員が含まれる投稿は、審査料と掲載料を徴収する。詳細は別紙1に定める。

【執筆規定】

15. 論文の構成

- 1) 標題(表題): 内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。原則として略語・略称は用いない。
- 2) 著者名: 著者は当該研究・執筆に寄与する人を必要最小限に記載する。審査開始後の著者の変更は原則認めない。
- 3) 要旨: 「目的」「方法」「結果」「結論」について項を分けて簡潔に記載する。また、研究論文(原著), 短報以外の記事の種類の論文においては、著者の判断で項目名を変更してもよい。
- 4) キーワード: 3 ~ 5つとする。略語を採用する場合は日本内科学会用語集、日本循環器学会用語集に準ずること
- 5) 本文: 本文は原則以下の項目に沿って本文を構成すること。ただし、研究論文(原著), 短報以外の記事の種類の論文においては、著者の判断で項目名を変更してもよい。

①はじめに (序論、緒言)

研究の背景、臨床的意義、研究の目的、取り扱っている主題の範囲、先行研究との関連性の明示などを記述する。

②対象および方法

用いた研究方法について第3者が追試できるように記述する。倫理的配慮も記述すること。

③結果 (成績)

研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。データは、検証、追試を行いやすいように図(グラフ)よりも表にして数値で示

す方が望ましい。

④考察 (分析)

結果の分析・評価、今後の課題、などを記述する。

⑤結論

研究で得られた結論を200 ~ 300字で簡潔に記述する。

⑥利益相反

利益相反の有無について記載する。

⑦謝辞

著者資格には該当しない研究への貢献者については謝辞に記載する。

16. 投稿原稿の構成

本文、図表、図表の説明文、補遺(Appendix)で構成する。

17. ページ番号および行番号

原稿にはページ番号および行番号を印字すること。行番号は通し番号とする。

18. 原稿の書式(見本を参照)

A4用紙、余白上下、左右25mm
40文字×30行、12ポイント明朝体、Times New Roman

19. 原稿の規程分量

研究論文(原著)、症例研究、システムティックレビューは、要旨・英文要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり8頁(400字詰め原稿用紙40枚・16,000字相当)。短報は要旨・英文要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり4頁(400字詰め原稿用紙24枚・9,600字相当)。その他は要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり6頁(400字詰め原稿用紙32枚・12,800字相当)。図表は、刷り上がり1/4頁大のもの1個を400字詰め原稿用紙1枚として換算すること。

20. 要旨

論文には和文の要旨(400字程度)をつける。また、研究論文(原著)、症例研究および短報には250語程度の英文要旨をつけること。なお英文要旨は原則としてネイティブ・スピーカーの校閲を著者自身の責任で受け、証明書を提出する

こと。

21. 図表

図・写真・表：図・表は本文に出てくる順に、それぞれ一連番号をつける。グラフィック表現および写真は図に含める。図の番号および表題は図の下に、表の場合は表の上につける。図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可を取り、投稿時に許可書を提出すること。図表の説明（キャプション）は図表の後に頁をあらたにして記載すること。スライド図・表は投稿用に作成し直す。

22. 文献

引用文献は本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、西暦年号、巻、頁（最初—最終）の順に書き、単行本の場合は著者氏名、書名、編集者名、発行所名、発行地、西暦年号、頁を記載する。文献名の省略は、Index Medicus や PubMed などの方法にしたがうこと。引用文献の著者氏名が 4 名以上の場合は最初の 3 名を記載し、他は「・他」または「et al.」とする。

『例』

- 1) 山本周平, 石田昂彬, 三澤加代子, 他：代謝当量は安静時ならびに運動時の心拍数から推定可能か?. 理学療法ジャーナル.2018 ; 52(4) : 372-377.
- 2) Kazuki Hotta, Wayne B Batchelor, James Graven, et al.: Daily Passive Muscle Stretching Improves Flow-Mediated Dilation of Popliteal Artery and 6-minute Walk Test in Elderly Patients with Stable Symptomatic Peripheral Artery Disease. Cardiovascular revascularization medicine: including molecular interventions. 2019; 20(8): 642-648.
- 3) 田畠稔：循環機能と運動療法、運動療法学、対 馬栄輝 (編), メジカルビュー社, 東京, 2020, pp. 153-180.
- 4) 厚生労働省ホームページ研究に関する指針
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/ikenkyu/index.html> (2021

年 10 月 01 日引用)

23. 数量の単位 単位は原則として国際単位系（SI 単位）を用いる。長さ：m, 質量：kg, 時間：s, 温度：°C, 周波数：Hz 等。
24. 略語 略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。
25. 機器名の記載法 機器名は、「一般名（会社名、製品名）」で表記する。なお、統計ソフトは「製品名、バージョン番号、会社名」とする。
26. その他 1) 必要がない限り表に縦線は使用しないこと。2) 表・図（写真を含む）の挿入位置は本文の右欄外に指示する。3) 本文には行番号およびページ番号を必ず記載する。

論文投稿先

投稿は循環器理学療法学会 HP 内のサイトか以下の URL より手続きをお願いします。

<https://www.editorialmanager.com/jcpt>

問い合わせ先（編集事務局）

E-mail: journal@jcvpt.jspt.or.jp

日本循環器理学療法学会雑誌 編集事務局

付則

この規定は、2021 年 12 月 10 日より施行する。

日本循環器理学療法学会 機関誌編集委員会

2024 年 3 月 1 日改訂

日本循環器理学療法学会 機関誌編集委員会

委員長 河野裕治（藤田医科大学病院）

年 月 日

日本循環器理学療法学会雑誌「循環器理学療法学」利益相反自己申告書

本研究論文のすべての著者がそれぞれに本申告書を提出すること。

投稿時から遡って過去1年間以内での論文発表内容に関する企業・組織または団体との利益相反を記載すること。

1. 投稿論文情報

論文タイトル :

提出者氏名（直筆署名）：

会員番号（本会会員のみ）：

所属：

2. 利益相反の有無

“日本理学療法学会連合 利益相反（Conflict of Interest : COI）の開示に関する基準をご確認の上、該当の状況に全て回答して下さい

	金額	該当の状況	該当のある場合、企業名等
① 役員・顧問職	100万円以上	有 / 無	
② 株	利益 100万円以上/全株式の5%以上	有 / 無	
③ 特許権使用料	100万円以上	有 / 無	
④ 講演料など	50万円以上	有 / 無	
⑤ 原稿料	50万円以上	有 / 無	
⑥ 研究費	200万円以上	有 / 無	
⑦ 奨学寄附金 (奨励寄附金)	200万円以上	有 / 無	
⑧ 寄付講座	企業の寄付講座に所属している場合	有 / 無	
⑨ その他報酬	5万円以上	有 / 無	

※利益相反に関する情報開示は、本文の最後（引用文献の前）に「利益相反」と見出しを付けて記載してください。

※著者全員に利益相反が無い場合は、「開示すべき利益相反はない」と記載し、利益相反のある著者がいる場合は、その氏名とその利益相反について全て列挙してください。

日本循環器理学療法学会
機関誌編集委員会 御中

「循環器理学療法学」投稿承諾書

下記の論文を日本循環器理学療法学会雑誌「循環器理学療法学」へ投稿します。

本論文は、他誌に掲載済みあるいは掲載予定のものではありません。また、「循環器理学療法学」に掲載後の本論文の著作権は、日本循環器理学療法学会に帰属し、電子媒体を問わず公開方法について、その権利を委譲することを了承いたします。

また、共著者がいる場合は、共著者として本論文内容に責任を持ち、同意していることを確認いたします。

論文題目：

筆頭著者 < 氏名(自筆署名) > <署名年月日>

共著者 < 氏名(自筆署名) > <署名年月日>

年 月 日

*共著者欄が不足の場合、この用紙をコピーしてご使用願います。

日本循環器理学療法学学会 機関誌編集委員会 御中

日本循環器理学療法学学会機関誌 投稿論文チェックシート

年 月 日

論文タイトル: _____

論文投稿する前に、以下の□項目を確認した上で、チェックして投稿をお願いします。なお、投稿された論文が下記の事項が反映されていない場合は、論文投稿を受理できません。論文投稿の前に、十分、確認して下さい。

- 投稿・執筆規程の各項目について確認し、最終確認しましたか。
- 連絡先の所属・住所・氏名・電話番号は、間違いはありませんか。
- 氏名の英文表記(ローマ字)は、正確に記載されていますか。
- 論文タイトル・キーワード(3~5語)は、正確に記載されていますか。
- 和文の要旨(原著 400 字、短報、症例報告 250 字程度)に、間違いはありませんか。
- 共著者を含めたすべての著者より、論文投稿に関して、最終確認が取れていますか。
- この投稿論文は、他誌への投稿あるいは、出版済みの論文ではないことを確認しましたか。
- この投稿論文の倫理審査が必要と判断された場合、倫理審査委員会の承認を得ていますか。
- 共著者を含めたすべての著者が利益相反自己申告書を作成していますか。
- 投稿論文の原稿規程分量は、投稿・執筆規程以内ですか。
- 介入を伴う臨床試験においては、臨床試験を開始する前に医学雑誌編集者国際委員会の登録 ID を記載しましたか。
- 図表は、刷り上がり 1/4 頁大のもの 1 個を 400 字詰め原稿用紙 1 枚として換算しますが、再確認しましたか。
- 図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可をとり、投稿時に許可書が必要です。
- 文献は、引用文献は本文の引用順に並べ、投稿・執筆規程に従った記載ですか。
- 投稿承諾書は、自筆による署名が記載されていますか。
- 掲載料は、筆頭投稿者、共著者ともに日本理学療法士協会会員について規定枚数以内は無料とし、筆頭投稿者あるいは共著者に理学療法士免許を有する日本理学療法士協会の非会員が含まれる投稿は、審査料と掲載料を徴収することを確認しましたか。

私は日本循環器理学療法学学会機関誌「循環器理学療法学 (Journal of Japanese Cardiovascular Physical Therapy)」へ投稿する上で、上記、すべての項目について確認を行いました。

責任著者(連絡著者)署名
